

令和5(2023)年8月28日

独立行政法人都市再生機構



都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設 「URまちとくらしのミュージアム」9月15日に開館

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、2023年9月15日（金）にヌーヴェル赤羽台（東京都北区）の保存街区に「URまちとくらしのミュージアム」（以下「ミュージアム」）を開館いたします。

UR都市機構は、前身となる1955年設立の日本住宅公団以来、わが国のまちづくりの先導的な役割を果たしてきました。当敷地内のミュージアム棟では、歴史的に価値の高い集合住宅4団地計6戸の復元住戸をはじめ、充実した映像や模型展示を通して、都市や集合住宅でのくらしの歴史やまちづくりの変遷を紹介します。

ミュージアム棟は事前予約制で、説明員付きツアー形式でご覧いただけます。本日、8月28日（月）から、公式WEBサイトを開設し、来場予約を受け付けます。



■ミュージアム公式WEBサイト

下記URLもしくはQRコードからご覧いただけます。

来場予約の方法などについては、当サイトよりご確認ください

URL: <https://akabanemuseum.ur-net.go.jp>



【報道機関のお問い合わせ先】

UR都市機構 本社 技術・コスト管理部 企画課
広報室 広報課

電話：045-650-0705

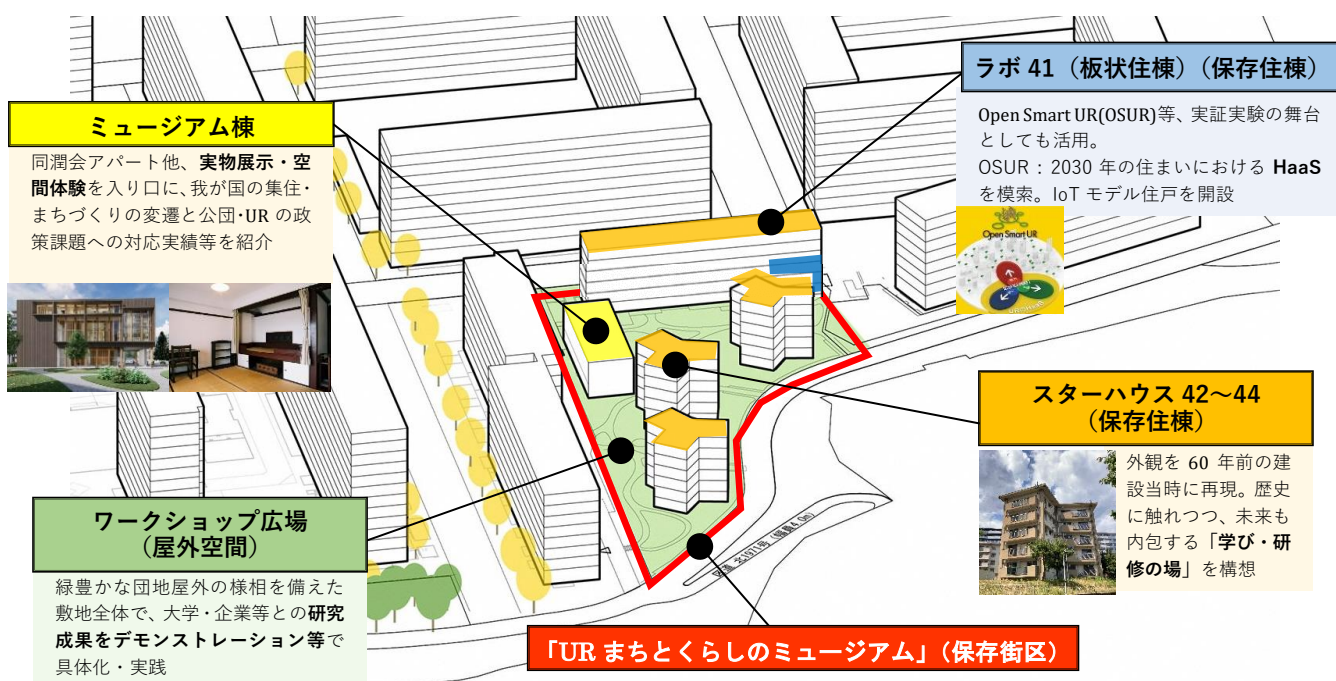
電話：045-650-0887

■ミュージアム概要

「URまちとくらしのミュージアム」は、我が国の住まいとまちづくりを対象とした「都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設」です。スターハウス等保存住棟4棟に新たな展示施設「ミュージアム棟」を加えた計5棟、さらに屋外空間からなるUR都市機構の企業ミュージアムになります。

ミュージアム棟では、我が国の鉄筋コンクリート造集合住宅の先駆けとなった、同潤会代官山アパートを始めとする4団地計6戸の「復元住戸」を、URが八王子市に設置していた集合住宅歴史館から移築・設置するほか、壁床4面スクリーン投影による映像展示、模型やパネルを用いて都市と集合住宅の暮らしの歴史や変遷を紹介します。

スターハウス等保存住棟4棟では、これからの暮らしの提案を行うほか、ストック社会に対応した改修技術等の実証フィールドとして活用します。当ミュージアムは、単なる展示施設ではなく、新たな暮らし方を探求し、トライアルする「まちづくりの実践場」として活動を展開します。



「UR まちとくらしのミュージアム」の全体像

■ミュージアム棟の公開概要

1. 開館日時：平日及び土曜の計5日／週 10:00～17:00（水・日・祝日及び年末年始を除く）
2. 見学方法：説明員付き館内ツアー形式（1回最大20名程度）でのご案内
1日3回（10:00～ / 13:00～ / 15:00～）
※復元住戸等、一部施設では車いす等での乗り込みが困難な箇所があります。
3. 申込方法：公式WEBサイトでの事前予約制／入場無料
4. 特別公開：9月15日（金）14:00～9月18日（月・祝）の開館時間中は、事前予約なしでご覧いただけます。お客様多数の場合、入場制限を設ける場合があります。
5. アクセス：JR「赤羽」駅西口より徒歩8分
6. 住所：東京都北区赤羽台一丁目4-50
7. 電話番号：TEL. 070-1389-5862
※9月末日まで



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



URまちとくらしの ミュージアム

UR Museum of
Urban and Lifestyle Design



公団・UR都市機構は団地、
都市再生、震災復興、ニュータウンなどを通じて
新たな暮らし方を探求してきました。
「URまちとくらしのミュージアム」は
その探求の「過去・現在・未来」を
体験しながら一望できる場所です。

9.15 FRI 赤羽台に OPEN!



事前予約制 入場無料

10:00～ / 13:00～ / 15:00～ (各回90分程度)

9/15(金)14:00～9/18(月・祝)の開館時間中は、
事前予約なしでご覧いただけます。
なお、お客様多数の場合、入場制限を設ける場合があります。

※復元住戸等、一部施設では車いす等での乗り込みが困難な箇所があります。

お問い合わせ先

〒115-0053
東京都北区赤羽台1丁目4-50
TEL.070-1389-5862 ※9月末日まで

・開館時間 10:00～17:00
・休館日 水曜・日曜・祝日
(年末年始・臨時休館あり)

ACCESS

JR「赤羽」駅西口より徒歩8分



公
式
サ
イ
ト



—— 街に、ルネッサンス ——



ポイント

1 ミュージアム棟 Museum Building

UR都市機構は、前身となる1955年設立の日本住宅公団の頃からわが国のまちづくりの先導的役割を果たしてきました。ミュージアム棟では、歴史的に価値の高い集合住宅4団地計6戸の復元住戸をはじめとして、充実した映像や模型展示をとおして、都市や集合住宅でのくらしの歴史やまちづくりの変遷を紹介します。



復元住戸



同潤会代官山アパートメント

1923年に発生した関東大震災後の住宅復興のために設立された財団法人同潤会が建設したわが国初期の本格的な鉄筋コンクリート造の集合住宅です。

蓮根団地

蓮根団地は、日本住宅公団初期の代名詞となった2DKの代表的な住戸です。ダイニングでイス座での食事をする生活を促すため、予めテーブルが備え付けられました。



晴海高層アパート

当時を代表する建築家・前川國男の設計による公団初となる10階建て高層集合住宅。垂直に3層、水平に2戸で計6戸のユニットを1パッケージとし、3階ごとにエレベーター着床する共用廊下から、階段で上下階の住戸にアクセスするスキップ形式が採用されました。

多摩平団地テラスハウス

専用庭のある長屋建ての低層集合住宅をテラスハウスと言います。昭和30年代に、主に郊外の団地で多く建設され、庭は近隣住民とのコミュニティをはぐくむ場となりました。



URシアター



UR都市機構が社会の要請を受けて取り組んできたまちづくりの変遷を、4面の大迫力スクリーンで体感いただけます。
(上映時間：約7分)

団地・まちづくり

戦後の住宅不足解消のための標準化・量産から豊かさを求めた多様化、そして今日の団地再生やストック活用と、時代ごとの変遷を辿ります。

団地



まちづくり



戦後の住宅不足を背景に1955年に設立された日本住宅公団が母体となり、さまざまな課題に半世紀以上にわたり向き合ってきました。UR都市機構が手掛けてきたまちづくりの事業を、年表や「メディアウォール」で一望いただけます。

Cultural Properties

国の登録有形文化財

ポイント

2

旧赤羽台団地を見守ってきた住棟4棟が、2019年、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。今後建設当時の住戸復元モデルや、新しいくらし方を提案するモデル住戸等を展開する場として活用していく予定です。 ※内部の常時一般公開はしていません。

ラボ41



ラボ41は団地内に多くつくられた標準的な5階建て「板状階段室型」住棟で、すべての住戸に採光・通気が最大限に得られるように住棟を南面させ、南側にバルコニーが設けられました。

スターハウス 42・43・44

「ポイント型」といわれる塔状の住棟で、不整形地への対応に優れ、団地景観上のポイントとしても配置されました。戦後日本で試みられた独特な住棟形式で、三角形の階段室の周囲に各階3つの住戸が放射状に配置され、全住戸が3方向を外気に接するため居住環境が優れていました。



ミュージアム棟へのご来館にあたって

- ・観覧はオンラインによる事前予約制となります。詳細はミュージアムWEBページをご確認ください。
- ・ミュージアム棟内復元住戸内は土足禁止となりますので、脱ぎ履きしやすい靴でお越しください。
- ・ミュージアム棟館内には展示解説の二次元コードを設置しています。イヤホン等の貸出は行っておりませんのでご了承ください。

当ミュージアムへのご来訪にあたって

当ミュージアムはUR賃貸住宅ヌーヴェル赤羽台内にございます。周辺への迷惑になる行為(騒音、路上喫煙)及び近隣住民の方々のプライバシーを害する行為は固くお断りいたします。

Workshop Field

ポイント

3



ワークショップひろば

ミュージアム棟前に広がる、芝生のひろば。くらし方を楽しみながら探求するためのさまざまなワークショップを展開し、「くらしの現在」を風景化していきます。



旧東鳩ヶ谷団地(1958年～)で親しまれていた彫刻家・流政之氏のファニチャーも見ることができます。

お申し込み方法

右記のQRコードまたは下記URLより来館予約をお願いします。

<https://akabanemuseum.ur-net.go.jp>

※予約受付期間:

見学2か月前の1日から前日まで

※団体予約はメールにて、見学6か月前からお受けします。

<団体予約の対象>

保育園・幼稚園・認定こども園、小・中学校、特別支援学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、短期大学、専門学校

8/28(月)14時
WEB予約
スタート

